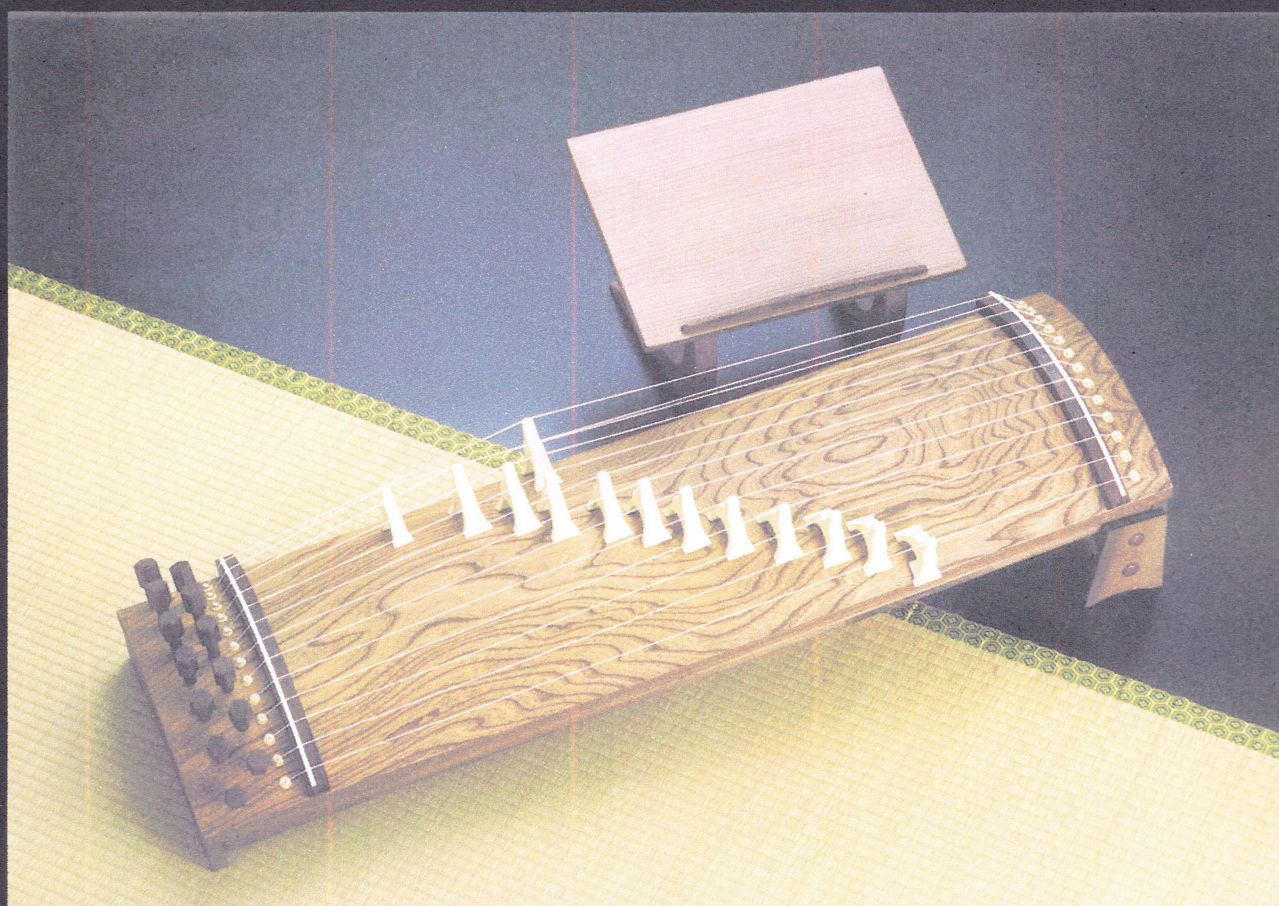


平安の音色を、ここに再現

小型箏

和音^か_ず
^ね

®



正しくお使いいただくために

★次の場所には置かないでください。

- 窓際などの直射日光の当たる場所、乾燥、湿気、ホコリの多い場所。
- 暖房器具のそばや、送風口付近等。
- 真夏の車内や寒暖の厳しい場所等。

★糸締め、糸の交換の際には注意してください。

- 糸締めの際、調節ツマミを一気に回さず、静かに小刻みにまわしてください。
(六角ツマミや芯の各部の破損の原因となります。)
- 糸が切れる場合もありますので、顔をあまり近づけないでください。
- 糸交換の際、素手で糸を引かないでください。

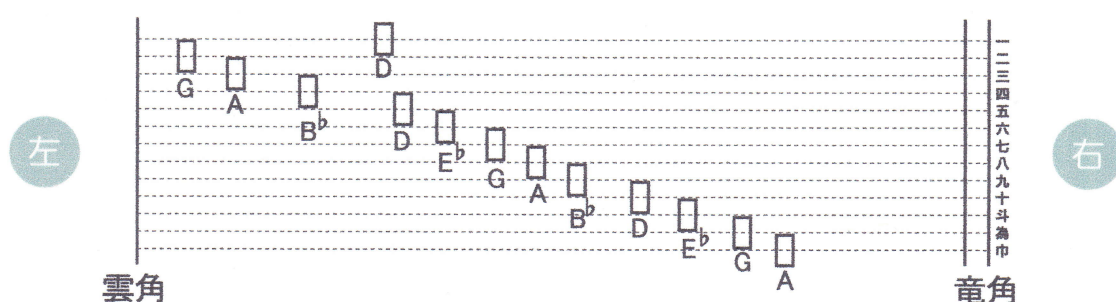
★ご使用上の注意

- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 乱暴に扱わないでください。本体、脚体の破損の原因となります。
- お手入れに科学薬品は使用しないで、乾いた柔らかい布で優しく軽く拭いてください。
(ベンジン、アルコール、シンナーなど絶対に使用しないでください。)
- 濡らしたり擦ったりしないでください。
- 万が一水がかかった場合には、拭き取らないでタオルで吸い取ってください。
- 改造はしないでください。
- 脚体に負担のかかる行為はしないでください。
- 箏爪以外のもので弾かないでください。
- 脚体は、正常使用で強度が保たれますので、縦移動・横移動・引き寄せ移動・押し移動は絶対にしないでください。また、立てかけ置きにも十分にご注意ください。
- 共鳴胴の付いた「和音」を持ち運ぶ際は、裏の穴は持たないでください。共鳴胴がはずれる原因となります。

調絃

琴は13本の糸があり、立てた琴柱を動かすことによって音程を作ります。弾く曲によってそれぞれの曲にあったいろいろな調絃があり、鍵盤楽器やチューナーで調絃ができます。その中でも代表的な「平調子」は次のようになります。この調絃は、「さくらさくら」「花嫁人形」「六段の調」など多くの曲を演奏することができます。
(和音は、お届けする際に「平調子」に合わせております。)

糸番号	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	斗	為	巾
音名	D	G	A	B ^b (A [*])	D	E ^b (D [*])	G	A	B ^b (A [*])	D	E ^b (D [*])	G	A

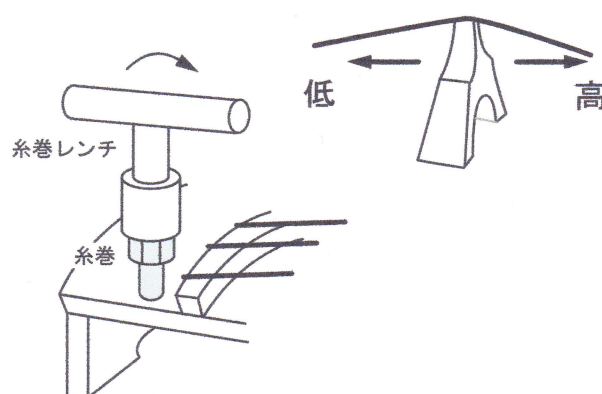


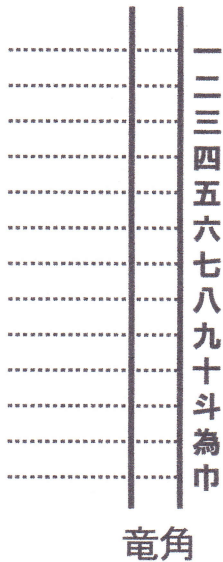
□ - 琴柱 二の糸の琴柱は「小柱」、
巾の糸の琴柱は「巾柱」を使用しています。

琴柱を右に移動させると音程は高く、左に移動させると低くなります。

また、糸巻を糸巻レンチで右に回すと糸の張りが強くなり、音程が高くなります。

レンチは糸巻きに対して直角に入れてください。斜めに入れますと破損の原因となります。また、琴柱をはずしてから締めますと、糸が切れにくくなります。





右

まず糸巻が左手になるように「和音」に向かって座ります。左手は琴柱の左側に軽く添えておきます。

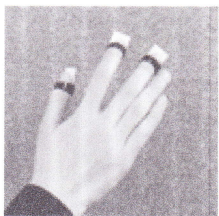
絃は十三本あり、一番向こうから手前に向かって順に

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 斗 為 巾

と、番号が付いています。

(11、12、13番はそれぞれ斗(と)、為(い)、巾(きん)と呼びます)

箏の楽譜はすべて、この糸番号で書かれています。



爪は右手の親指、人差し指、中指にしっかりとめします。

絃を弾くには、親指の爪の角を強く絃に当て、そのまま前に押して次の絃で止めるように弾きます。

弾くときは、竜角位置より約2cmのところを弾きますと、音がきれいです。

さくらさくら (算用数字の場合)

お箏の楽譜は、基本的に糸の番号を使って表します。

算用数字、または漢数字で示されています。

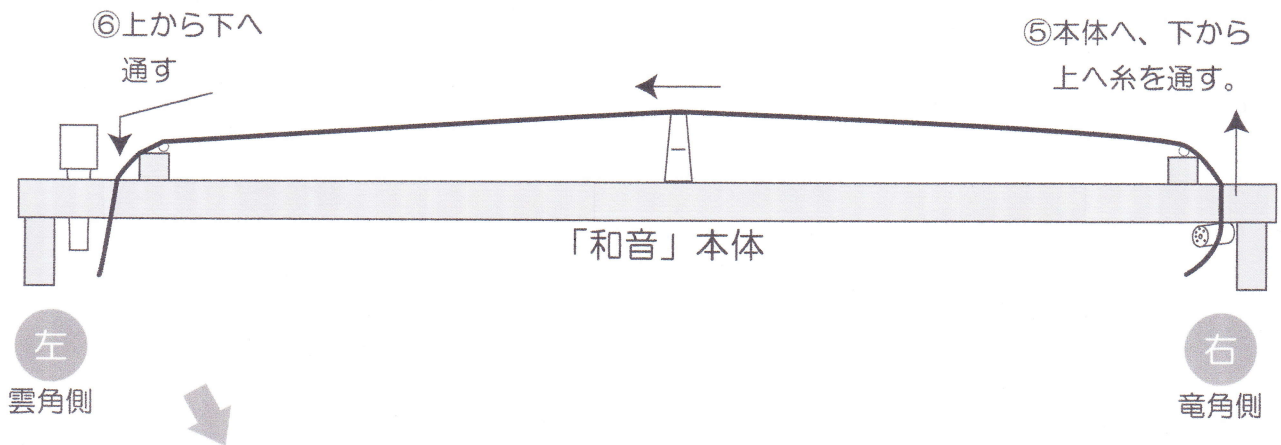
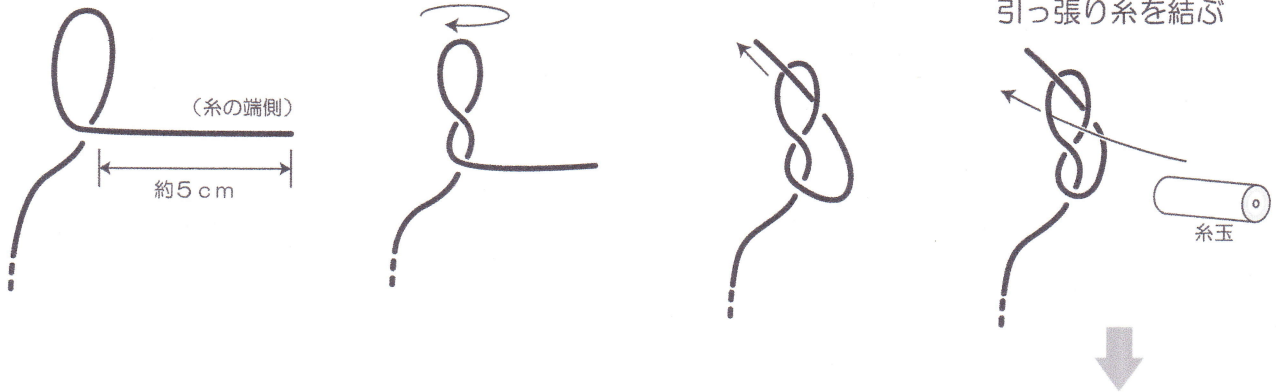
$\frac{4}{4}$ 7 7 8 ● さ く ら -	$\frac{4}{4}$ 7 7 8 ● さ く ら -	$\frac{4}{4}$ 7 8 9 8 や よ い の	$\frac{4}{4}$ 7 <u>87</u> 6 ● そ ら ア は -
$\frac{4}{4}$ 5 4 5 6 み わ た す	$\frac{4}{4}$ 5 <u>54</u> 3 ● か ぎ ィ り -	$\frac{4}{4}$ 7 8 9 8 か す み か	$\frac{4}{4}$ 7 <u>87</u> 6 ● く も オ か -

●は前の音を一拍休みます。

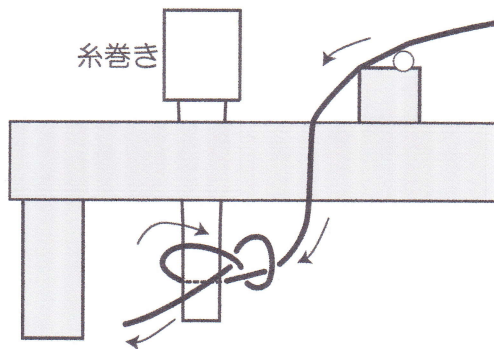
87の __ は8分音符を表します。

糸の取換え方

- ①糸の端に輪をつくる ②左へひとひねりする ③糸の端を輪に通す ④輪に糸玉を通し、強く引っ張り糸を結ぶ



- ⑦糸巻きの先端にある穴に、図のように通して糸を結ぶ



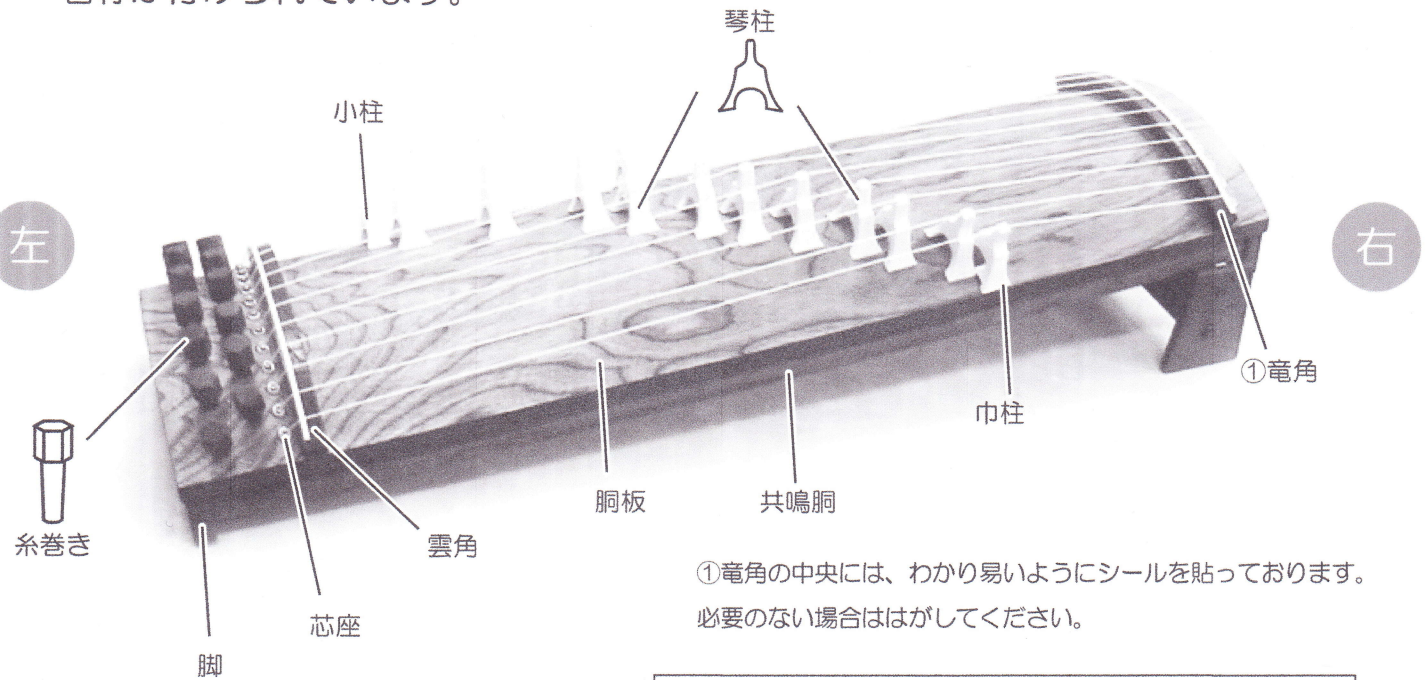
- ⑧糸巻きを回転させて音を合わせてください。張ったばかりの糸は音が動きますが、1週間ほどで落ち着いてきます。

糸巻きがゆるい場合は、上から木づちなどで軽くたたいて安定させてください。

新しい糸は伸びやすいので糸を張ってから十分にのばして調絃してください。
丈夫な糸ですから、強く締めすぎない限りほとんど切れません。
(何度も同じ箇所の糸が切れる場合には、販売先へお問合せください)

小型箏「和音」の全体図と各部の名称

本来、箏を竜に見立てて様々な名称が付けられています。



①竜角の中央には、わかり易いようにシールを貼っております。必要のない場合ははがしてください。



2002年 グッドデザイン賞受賞商品です。

独創的である

デザインコンセプトが優れている

新しいものづくりを提案している

使いやすさ、親切心がある

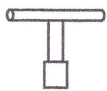
高い技能を活用している

社会の文化的な価値を誘発している

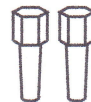
…これらが認められての受賞となりました

・特許/第3394234号 ・商標/第4486640号

付属品 (はじめにご確認ください。)



●糸巻きレンチ 1個



●糸巻き (予備) 2個



●琴柱 13個、
予備2個

●糸 (予備) 2本



●番号札 1枚

一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
斗
為
巾

この用紙は糸の番号と同番です。糸の番号がわかりにくい場合にご利用ください。

図の①竜角より左に5~6センチ位のところにセロテープで止めてご使用ください。なお、弾く方の姿勢、座高等で角度が異なりますので自分にあった場所に止めてください。

かずね[®]
小型箏 和音 保証書

★お客様番号		No.	
(★ お客様 ご記入 ください)	お名前		
	ご住所		
	電話番号		
保証 期間	本 体	1 年	お買い上げ
★ 販 売 店			

本書は、取扱説明書の注意書きによる正常なご使用で保障期間中に破損した場合に、本書記載内容にて無料修理させて頂く事をお約束する物です。保障期間中に破損が発生した際には、先ず連絡いただき破損又は、破損部位の個所により速やかに対処いたします。

★印欄に記入のない場合は有効とならない場合もあります。必ずご記入の有無をご確認ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

保証期間内でも次の場合は有料修理になります。

- 使用上の誤りや改造による破損
- お買い上げ後の落下、輸送等による破損
- 火災、天災地変（地震・風水害・落雷）による破損
- 本書の提示がない場合
- 本書にお買い上げ年月日、お客様氏名、販売店の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合
- 通常使用以外にご使用になった場合や、付属品以外の部品等を使用した場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です
- ご転居の場合には事前に販売店にご相談ください。

保証期間経過後の修理については販売店にご相談ください。

「和音」についてのお問合せ、ご注文は

有限会社 渡引建具店 渡引 芙久子

〒020-0872 岩手県盛岡市八幡町8-26

電 話 019-622-4682 FAX 019-658-8024

URL <http://www.ginga.or.jp/imc> mail imc@rnac.ne.jp